

2022年度 第2回 JSSR プロジェクト委員会 議事録

日時:2022年6月8日(水) 19時から19時35分 (Web開催)

(参加者予定、敬称略):

担当理事:橋爪洋、委員長:海渡貴司

委員:宮城正行、今城靖明、折田純久、八木満、森幹士、若尾典充、宮崎正志、室谷健太、寺井秀富、宮腰尚久、渡邊慶、吉井俊貴、手束文威、金村徳相、折田純久、中島宏彰

オブザーバー:波呂浩孝、松山幸弘、伊藤研悠、遠藤努

欠席予定:岡敬之、後藤励、高畑雅彦、今釜史郎、大和雄

議事録

1. 橋爪新担当理事のご挨拶

JSSRにおいてプロジェクト委員会の果たすべき役割・責務についてお話をいただく。

2. 波呂理事長ご挨拶

JOA 脊椎関連ガイドラインのCQ,FQのエビデンスレベル向上に資する研究を本委員会には期待している。個別プロジェクト研究の進捗の評価を定期的に行い、研究期間あるいは症例数の変更等の英断も必要である。

3. 新委員先生のご挨拶(宮城正行先生、中島宏彰先生、手束文威先生)

4. 進行中プロジェクト研究の報告(学会発表・論文化含む)

1) 1度滑りに対する除圧 vs 固定(八木先生)

登録は順調に進んでおり、2年で目標症例到達見込みである。現在の症例数で意義ある解析が可能と考えるが、後藤先生とも相談を行い症例登録期間、症例数について再検討を行う

2) 脊柱変形に対する手術治療(大和先生、海渡から代理報告)

症例登録は、COVID感染拡大状況を受けて多少遅延しているが、回復傾向にある。2年での症例登録完了を継続して目指す。

3) 頰肩腕症に対する薬物治療(若尾先生)

症例登録は約300例に達し、2022年7月で登録終了予定である。現在の症例登録数で統計学的解析は可能と考えている。今後は、解析・論文化のフェーズへ移行する。次回委員会で解析案等について提示をいただく。

4) 腰部神経根ブロック(宮城先生)

参画施設は大学病院が多く症例登録は遅延しているが、目標症例登録数の期間内での達成を現状では目指している。今後、症例登録促進策を講じながら症例登録数の推移を評価していく。

5) 腰曲がり運動療法(寺井先生)

目標症例に到達し、症例登録は 2022 年 5 月で終了した。半年各のデータ郵送であるが、資料は集積されてきており、今後解析を進めていく。

5. 新規プロジェクト研究

1) 松山前理事長より

適正使用等で議論のある止血剤の費用対効果研究を新規研究案として提案いただく。

2) 事前アンケート結果等（海渡）

新規研究に関する事前アンケートでは、進行中プロジェクト完遂を優先する意見が多いものの、研究デザインによっては新規研究の開始も可能という意見も多くいただいた。プロジェクト研究は症例集積が完了したもの、完了の目処が立っているものもあり、それらとスムーズに切り替えて新規研究が行えるように、今後 Web アンケートを複数回実施、事務局担当施設の選定を行い新規プロジェクト研究の立ち上げ準備を進める。

6. 次回予定

2022年9月頃（Web でのアンケート・メール審議を次回までに複数回実施する予定）